

## 平成29年度 御杖村社会福祉協議会 事業報告書

少子高齢化の進行や単身世帯の増加に加え、先行き不透明で不安定な社会経済情勢の中、社会的孤立や孤独死等の問題が深刻化し、地域では様々な暮らしの課題が見られています。

人々の生活スタイルや価値観が多様化するとともに、地域では人と人、社会と人とのつながりが希薄になり、既存の制度では対応できない生活支援のニーズや孤立、生活困窮を背景とした深刻な生活課題が表面化してきています。

介護保険制度や福祉の諸施策の実施により、地域福祉の推進がより求められ、高齢者や障害者等に対する介護予防や支援、福祉サービスの充実、また高齢者世帯に対する地域での支えあいや見守りが、必要不可欠となってきています。

また介護保険制度の改正により、村から委託されている地域包括支援センターの役割も益々重要となっています。

このような状況のもと、平成29年度の活動についても前年と同様、住民のニーズを的確に捉え、村・社会福祉施設・民生児童委員協議会・元気思いやりサポーター・ボランティア・保健医療機関等との連携を密にし、本協議会が地域の福祉力を支える専門機関として、下記のとおり各種事業の推進を行い、地域福祉のより一層の充実と安定を図りました。

### 1. 職員の資質の向上

#### ○ 職員の研修

県内社協事務局長及び職連等の職員研修会6回、宇陀郡自立支援協議会3回、ケース会議及び利用者との打ち合わせ47回、介護保険関係研修会2回、地域医療連携研修会、東和地域包括研修会、相談支援業務研修6回、介護支援専門員更新研修（2名）5回、主任介護支援専門員更新研修8回、認知症等研修会3回、地域福祉推進ネットワーク会議、発達障害者支援機関連絡会議、地域生活定着支援センター研修会、精神保健福祉事例検討会等に参加し、職員の資質及び意識の向上を図りました。

## 2. 福祉活動、福祉思想の普及

- 第39回御杖村社会福祉大会の開催 10月11日
- 日本赤十字募金運動の実施 (5月) 募金額323,205円(0.5%減)
- 共同募金運動の実施 (10月) 募金額212,519円(4.6%減)
- ボランティアグループによるふれあい喫茶(毎週木曜日実施)の運営

## 3. 地域福祉活動の充実向上

### ○ 在宅福祉サービス事業の推進

- ・地域福祉ネットワーク事業

ボランティア登録の推進(個人登録39名、団体登録4団体)

地域サロン活動(元気にしとる会)の推進、支援

13地域(1地域減)で毎月1回実施(神末一中村・西町・東町男・東町女・  
敷津男・敷津女、菅野一全域・上郷、中野、土屋原一堂前・峯、水口、畑井・  
大野・中村、桃俣一全域) 延べ参加者1,332名(61名増)

- ・高齢者食生活改善事業(ふれあいお食事会)の実施

年4回実施(6/13、8/22、10/19小学校で給食、3/13)

延べ参加者169名(11名増)

### ○ 障害福祉サービス事業の推進

- ・障害者、児相談支援 16件(10件増)

## 4. 介護保険事業等の実施

### ○ 地域包括支援センター事業の運営

- ・相談受付業務 41件(3件増)

- ・元気、思いやりサポーター研修会(村保健福祉課と共同)の運営

年3回実施(4/18、6/28、3/13) 延べ参加者61名(24名増)

- ・介護予防支援事業(要支援者の予防プラン作成)一委託含む 延べ809件  
(47件増)

○ 居宅介護支援事業

- ・要介護者の介護プラン作成 延べ561件（43件増）

5. 過疎地有償運送事業（デマンド交通）の運営

- ・利用者登録者数 200名（27名増）
- ・利用実績

223日稼働、延べ1,148名が利用（290名増）

6. 会務運営

○ 理事会の開催

- ・平成29年6月12日（平成28年度事業報告、決算の承認等）
- ・平成29年6月26日（会長、副会長の選定）
- ・平成29年11月22日（補正予算、規程の議決等）
- ・平成30年3月22日（平成30年度 事業計画、予算の承認）

○ 評議員会の開催

- ・平成29年6月26日（平成28年度事業報告、決算の承認等）
- ・平成29年12月4日（補正予算、規程の承認等）
- ・平成30年3月29日（平成30年度 事業計画、予算の承認）

○ 評議員選任、解任委員会の開催

- ・平成29年6月12日（評議員の選任）

○ その他

- ・民生児童委員協議会及び、福祉関係団体との連絡調整
- ・村老人クラブ連合会運営に関する業務
- ・身体障害者福祉協議会及び母子寡婦福祉会の事務局
- ・高齢者文化教室（手芸、歌謡教室等）運営に関する業務
- ・生活福祉資金貸付に関する業務
- ・善意銀行に関する業務